

DISCLOSURE REPORT

株主のみなさまへ

2014年度ご報告
(2014年4月1日—2015年3月31日)



CONTENTS

- 1 社長インタビュー
- 5 2014年度連結財務諸表の概要
- 6 株主アンケート結果報告

2014年度は、4期連続の増収増益を達成！ 2015年度は、将来の成長に向けた新たな中期経営計画のもと、事業課題に取り組んでまいります。

2014年度の決算をふまえ
JFEシステムズの取り組みについて
西崎代表取締役社長がお答えします。



Q

2014年度の評価は？

A

4期連続の増収増益を達成。22円/株から28円/株へ増配いたしました。

2014年度、当社グループは重点戦略である「JFEスチールIT施策の推進」と「一般顧客向けビジネスのさらなる強化・拡大」を推進しました。

この結果、製造流通業界向け複合ソリューション事業の拡大などにより、4期連続の増収増益を達成することができました。

配当については、この業績の向上を踏まえ、22円/株から28円/株に増配させていただきました。

2014年度連結業績

売上高 **358億円** (前期比 +1.9%)

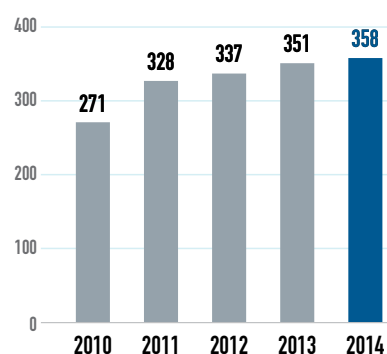
経常利益 **16.8億円** (前期比 +50.0%)

当期純利益 **8.3億円** (前期比 +49.2%)

連結業績ハイライト

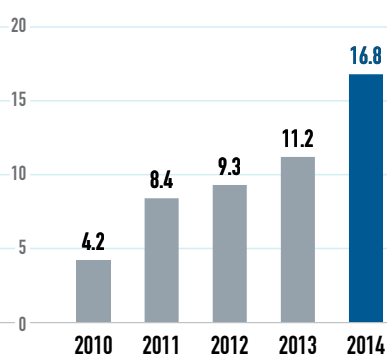
連結売上高

(単位：億円)



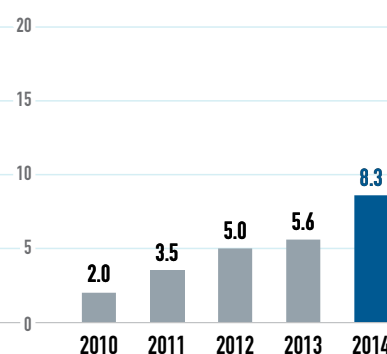
連結経常利益

(単位：億円)



連結当期純利益

(単位：億円)



Q 新たな中期経営計画のポイントについて教えてください。

A 将来の成長に向けた新たな中期経営計画を策定いたしました。
「JFEスチール製鉄所システム刷新プロジェクト」を遂行しつつ、これらを通じて技術力を強化し、2017年度の連結売上高400億円以上、経常利益20億円以上を目指してまいります。

新中期経営計画の骨子

- ▶ 「**1** JFEスチール製鉄所システム刷新プロジェクト」を最新のICT（情報通信技術）で遂行
- ▶ プロジェクトを通じて得られる技術・ノウハウを当社の強みとして、
「**2** 基盤サービス事業」、「**3** ソリューション事業」を製造業向けをはじめとした一般顧客向けに展開
- ▶ これらの事業を当社の新たな柱としていくことで、高収益事業への構造転換をはかる。

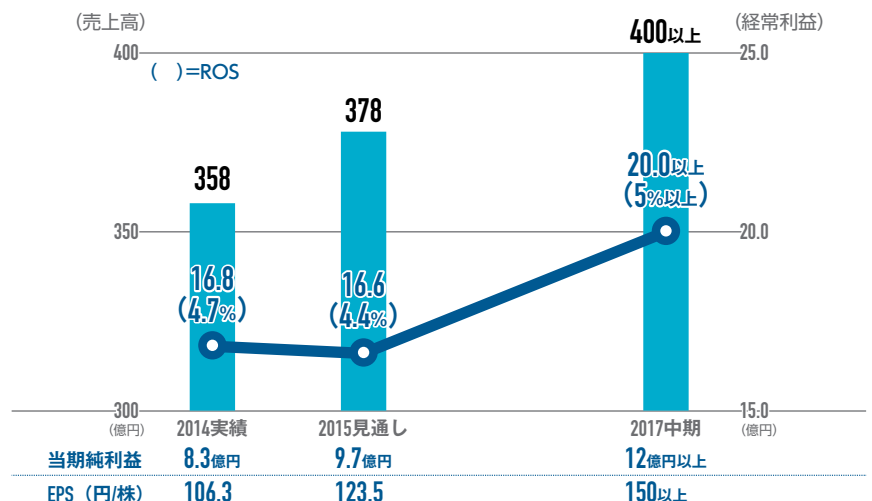
新中期経営計画（2015～2017）の重点課題

	2012～2014	2015～2017	2018～
鉄鋼向	システム投資回復時期	JFEスチール製鉄所システム刷新プロジェクト 技術・ノウハウ	高収益事業への転換
基盤	基盤新サービスの企画、開発	基盤サービス事業の拡大	
一般顧客向	複合ソリューション拡充 (ERP*+自社ソリューション)	ソリューション事業の拡大	
		製造業顧客基盤拡大（自動車等）	
		自社プロダクト拡販（電子帳簿、食品）	

*ERP 企業の基幹系業務システムを統合化した業務パッケージ。

新中期経営計画の収益目標

- ▶ 上記重点施策の推進により、
2017年度連結売上高400億円以上、
経常利益20億円以上、当期純利益12
億円以上を目指します。



Q 新中期経営計画の重点課題である、「**1** JFEスチール製鉄所システム刷新プロジェクト」、「**2** 基盤サービス事業」、「**3** ソリューション事業」の内容について教えてください。

1 JFEスチール製鉄所システム刷新プロジェクト

- 最新ICTによりJFEスチール製鉄所システムの刷新を行い、業務の抜本的改革をはかるプロジェクトです。
- 2016年度以降の本格的な立上げに向け、2015年度は事前検討やパイロットシステム開発などの先行投資を推進します。

トピックス 「攻めのIT経営銘柄 (Competitive IT Strategy Company)」選定

当社の親会社であるジェイ エフ イー ホールディングス株式会社は、2015年5月26日経済産業省および東京証券取引所が選ぶ「攻めのIT経営銘柄」に選定されました。当社は、これからもITを通じJFEグループをはじめとしたお客様の持続的な成長と企業価値向上をサポートしてまいります。



攻めのIT経営銘柄
Competitive IT Strategy Company

2 基盤サービス事業

- 急成長するクラウド市場に対応し、サービス提供型事業の拡大に注力します。
- 2015年4月に全社の基盤技術者を集約した「基盤事業部」を新設し、今後さらなる事業拡大に向けて、以下の施策を推進します。

クラウドサービスの種類

当社のクラウドサービス事業方針

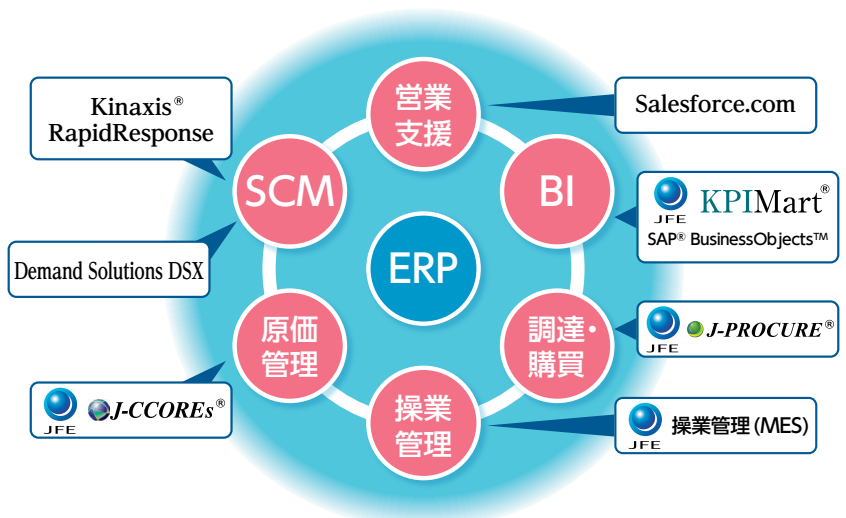
SaaS: ソフトウェア利用サービス	▶ 当社ソフトウェア商品のクラウド化 (今後)
PaaS: システム環境利用サービス	▶ セールスフォース・ドットコム社クラウドサービス販売開始(2015.6)
IaaS: ハードウェア利用サービス	▶ 「JGranz [®] IaaS (ジェイグランツイアース)」販売開始(2014.11)

3 ソリューション事業

- 当社は、ERPと自社製ソリューションを組み合わせた複合ソリューション*の展開により、製造業を中心とした新規顧客開拓に取り組んでいます。
- 今中期経営計画においては、製鉄所システム刷新を通じて得られる技術・ノウハウを強みとして、製造業に最適なソリューションを提供するITベンダーを目指します。




*複合ソリューション ERPと自社製ソリューションを組み合わせ、短期・効率的なシステム構築を行う。

製造ソリューション概念図 (● 自社製ソリューション)

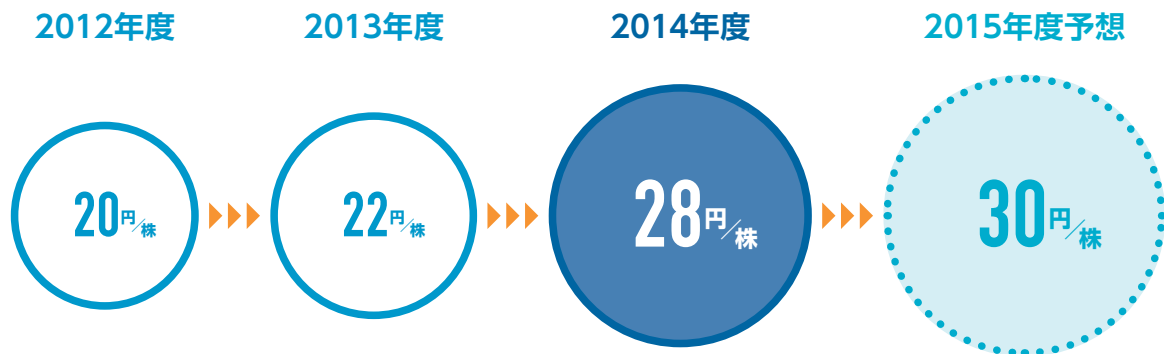


Q 新中期経営計画の初年度にあたる2015年度の見通しについて教えてください。

A 売上高は増加を見込むものの、新たな中期計画の推進に必要な戦略的先行投資の実施により、経常利益は前期並みを見込んでおります。

売上高 (連結)	 378億円 (前期比 +5.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 製鉄所システム刷新、一般顧客（特に自動車）向け拡大およびソリューション展開による売上増
経常利益 (連結)	 16.6億円 (前期比 △1.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 戦略的先行投資による費用増を見込み、前期並み ● 製鉄所システム刷新に関する事前作業 ● 基盤サービス事業の強化
当期純利益 (連結)	 9.7億円 (前期比 +16.2%)	▶ 税制改正の影響等があり増益見通し

A 来期の配当は、上場以来最高額の30円／株(株式分割後換算)への増配を予想しています。



Q 株主の皆様一言お願いします。

A 株主の皆様をはじめすべてのステークホルダーの方々にご満足いただけるよう、新たな中期経営計画に沿って収益体質のさらなる強化をはかり、持続的な成長、企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 西崎 宏

連結貸借対照表

単位:百万円	2013年度末	2014年度末	差
資産の部			
流動資産	11,818	14,222	
固定資産			
有形固定資産	2,311	2,228	
無形固定資産	2,572	2,180	
投資その他の資産	2,081	2,141	
固定資産合計	6,965	6,550	
資産合計	18,784	20,772	1 1,988
負債の部			
流動負債	5,698	6,697	
固定負債	3,136	3,451	
負債合計	8,834	10,149	2 1,315
純資産の部			
株主資本			
資本金	1,391	1,391	
資本剰余金	1,959	1,959	
利益剰余金	6,301	6,961	
株主資本合計	9,652	10,311	
その他の包括利益累計額	△20	△31	
少数株主持分	318	342	
純資産合計	9,950	10,623	3 673
負債純資産合計	18,784	20,772	

連結損益計算書

単位:百万円	2013年度	2014年度	差
売上高	35,126	35,807	4 681
売上原価	29,145	29,161	
売上総利益	5,981	6,646	
販売費及び一般管理費	4,878	4,945	
営業利益	1,103	1,701	
営業外収益	35	28	
営業外費用	17	46	
経常利益	1,121	1,682	5 561
税金等調整前当期純利益	1,121	1,682	
法人税、住民税及び事業税	538	757	
法人税等調整額	△1	59	
少数株主損益調整前当期純利益	584	867	
少数株主損益	25	32	
当期純利益	559	835	6 275

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円	2013年度	2014年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,953	3,335
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,749	△1,718
財務活動によるキャッシュ・フロー	△568	△571
現金及び現金同等物の増減額	△347	1,050
現金及び現金同等物の期首残高	2,301	1,954
現金及び現金同等物の期末残高	1,954	3,004

POINT 1 | 連結貸借対照表

- 1 資産合計 ⇒ 1,988百万円増加
預け金、売掛金の増加等による
 - 2 負債合計 ⇒ 1,315百万円増加
退職給付に係る負債、買掛金の増加等による
 - 3 純資産合計 ⇒ 673百万円増加
当期純利益計上に伴う利益剰余金の増加等による
- 自己資本比率 ⇒ 51.3% ⇒ 49.5%
負債の増加が純資産の増加を上回ったことによる

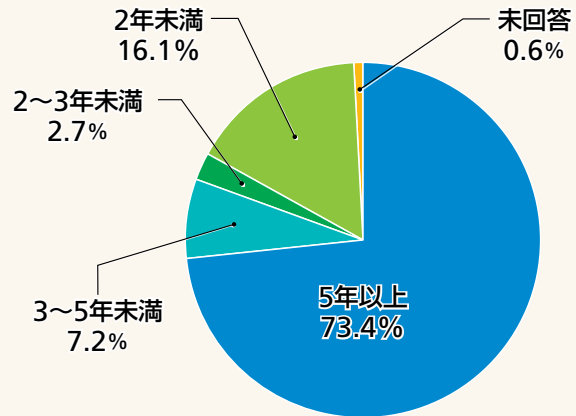
POINT 2 | 連結損益計算書

- 4 売上高 ⇒ 681百万円増加
鉄鋼向、一般顧客向の売上高増加による
- 5 経常利益 ⇒ 561百万円増加
全部門(鉄鋼向、一般顧客向、子会社)の収益改善による
- 6 当期純利益 ⇒ 275百万円増加
経常利益の増加による

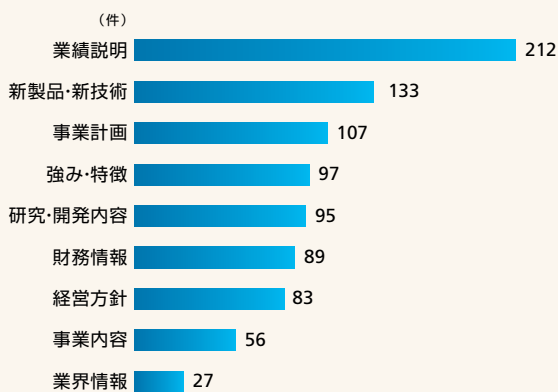
※ 本連結財務諸表中の表示数字未満の端数の扱いは四捨五入としています。

「2014年度上期ご報告」に同封いたしました株主アンケートにつきまして、399通のご回答をいただきました。ご協力くださりまして有難うございました。今後とも株主の皆様のご期待に沿えるよう努力してまいります。

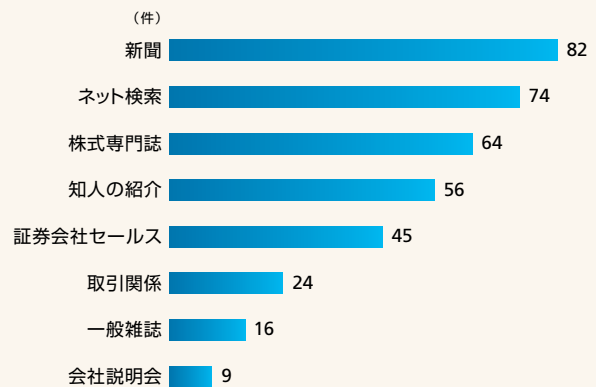
Q1 当社株式の保有年数



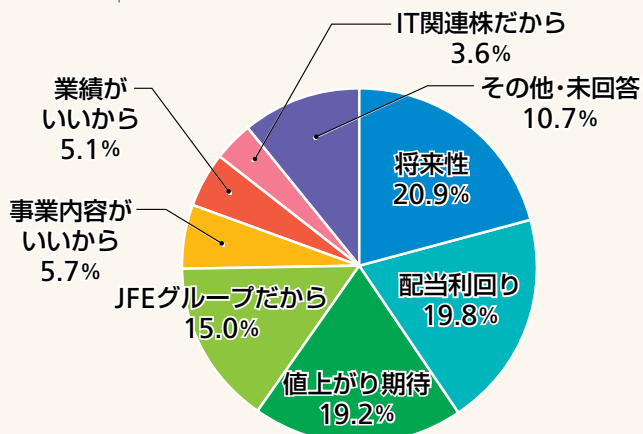
Q2 当社について知りたい内容(複数回答)



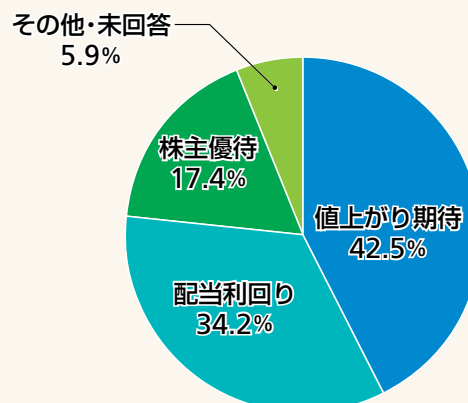
Q3 当社を知ったきっかけ(複数回答)



Q4 当社株式の保有理由



Q5 今後の買増しで考慮する点



会社の概要

名称(商号)	JFEシステムズ株式会社 JFE Systems, Inc.
本社所在地	〒130-0012 東京都墨田区太平四丁目1番3号 オリナスタワー17階 電話 03-5637-2100(代表)
設立	1983年9月1日
資本金	1,390,957千円

主な事業内容	情報システムのインテグレーション および運用・保守など
従業員数	1,780名(連結)
子会社の状況	KITシステムズ株式会社 67.5% JSU, Inc. 100.0%
上場証券取引所	東京証券取引所第二部(証券コード:4832)

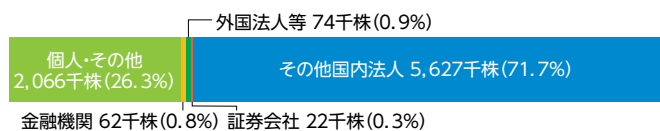
経営体制

取締役	代表取締役社長(CEO)	西崎 宏
	取締役(常務執行役員)	渡部 尚史
	取締役(常務執行役員)	宮原 一昭
	取締役(常務執行役員)	福村 聡
	取締役(常務執行役員)	上條 巧
	取締役	北山 直人
	取締役(社外)	都築 正行
監査役	常勤監査役(社外)	深川 均
	常勤監査役	金藤 秀司
	監査役	安藤 武彦
	監査役(社外)	富澤 雄一
執行役員	常務執行役員	佐々木 富雄
	執行役員	柏原 大造
	執行役員	國安 誠
	執行役員	中村 元
	執行役員	下田 純
	執行役員	原田 敬太
	執行役員	奥野 敦己
	執行役員	船尾 哲也

株式の状況

発行可能株式総数	31,412,000株
発行済株式総数	7,853,000株 (自己株式107株含む)
株主数	1,670名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数	持株比率
JFEスチール株式会社	5,116千株	65.15%
JFEシステムズ社員持株会	697千株	8.88%
富士通株式会社	250千株	3.18%
アトラス情報サービス株式会社	50千株	0.64%
JFEアドバンテック株式会社	50千株	0.64%
JFE電制株式会社	50千株	0.64%
JFEメカニカル株式会社	50千株	0.64%
JFE物流株式会社	50千株	0.64%
三井住友信託銀行株式会社	50千株	0.64%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	46千株	0.60%

※ 持株比率は、自己株式(107株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	株主総会・期末配当は毎年3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 http://www.jfe-systems.com/ir/stock/houtei.html ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所第二部

お知らせ

- **住所変更等のお申し出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申付けください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申付けください。
- **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申付けください。
- **「配当金計算書」について**
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
* 確定申告をされる株主様は、大切に保管してください。

● **注意** 本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。

DISCLOSURE REPORT 株主のみならずへ 2014年度ご報告

Copyright © 2015 JFE Systems, Inc. All Rights Reserved.
本誌の無断複製・転送などはおやめください

〒130-0012 東京都墨田区太平四丁目1番3号オリナスタワー17階
JFEシステムズ株式会社 総務部 総務・法務Gr
電話：03-5637-2105 FAX：03-5637-2400